

会社名 : 鶴見曹達株式会社  
所 属 : 環境保安部 衛生管理者  
氏 名 : 薄 ひとみ(うすき ひとみ)

## 1. 会社概要

当社は、昭和9年創立以来ソーダ電解事業を中心として営んでおり、本社工場と東京新橋の営業部(東亜合成(株)本社ビル内)、そして2006年に操業開始した高純度無機化学薬品生産第二拠点の徳島工場などから成っています。

本社工場は、横浜市鶴見区の鶴見川河口近くにあり、ベイブリッジ、ランドマークタワーなどの景観を楽しめる場所に位置し、その敷地面積は約100,000m<sup>2</sup>(約30,000坪)です。

従業員数は約200名、協力事業所を含めると約450名が在籍しています。

主力であるソーダ電解事業は、オーストラリア、メキシコなどから輸入した「原塩」(天日塩)すなわち「塩化ナトリウム(NaCl)」を電気分解(陽イオン交換膜食塩電解法)することで、陰極側で発生する「か性ソーダ溶液」と「水素ガス」、陽極側で発生する「塩素ガス」を取得しています。さらにこれらから合成する各種無機化学薬品は化学工業のみならず、鉄鋼・自動車・電子産業、公共事業関係、河川浄化用などの幅広い用途に使用されています。

主な販売製品としては、か性ソーダ(固形、液体)、液化塩素、水素などの一次製品、これらを原料とした合成塩酸、液化塩化水素、次亜塩素酸ソーダ、塩化第二鉄液などの二次製品、プリント基板のメッキに使用する易溶性酸化銅などがあります。

当社は、新製品の開発、既存製品の品質改良や、さらなる省資源・省エネルギーを実現すべく製造方法の開発に注力しています。独自の技術で生み出した高品位・高安定性の次亜塩素酸ソーダ製品、高純度製品である液化塩化水素、合成塩酸、か性ソーダなどの製品は、日々進化している社会の新しいニーズに対応してきました。

## 2. 社内健康づくり活動への取り組み

社内健康づくり活動を含め、健康管理全般に関する業務は、産業医(嘱託)、産業保健スタッフ(衛生管理者兼任)の2名が担っています。

### 【経緯】

年初に安全衛生方針・目標を掲げ、それを職場で具体的に計画し活動を展開しています。

2001年までは、安全面の活動が重視され、衛生に関する健康づくり活動への意識はあまり高くありませんでした。

しかし、2002年より生活習慣病予備軍やメンタル相談件数の増加などが懸念されはじめたため、自己健康管理の意識付けと社内での健康づくりにもうエイトを置き活動を進めるための体制づくりを行いました。



## 【特徴】

### 社内連絡体制の充実

毎月の安全衛生委員会の内容は、議事録の配布に留まらず、「業務連絡会」という各職場の代表が出席する会議の場で説明し、その代表が職場で開催する「職場安全衛生会議」で内容を説明することにより、従業員一人ひとりにまで周知徹底を図っています。

### 活動の進捗管理

月に1度実施する安全衛生パトロールでは、工場巡視の他に訪問職場を決め、その職場で設定した年度の安全衛生目標・計画の展開と、その達成状況の確認、進め方の指導を行っています。

### 産業医との連携及び対策の充実

当社の産業医は嘱託で月2回の出社ですが、出社日以外でも緊急の連絡がとれる体制を整えています。

特に、現在は

- ・ 過重労働対策として長時間勤務者への健康管理及びフォロー
- ・ 従業員への健康支援対策として相談体制や事後指導
- ・ 受動喫煙防止対策の一つとして喫煙率低減化

に重点を置いています。

産業医の監修で「個人の健康情報管理」、「産業医面接指導」、「職場復帰プログラム」など、社内での健康管理に関する規程や要領を整備し、従業員の健康上の事例にスムーズな対応が出来るようにしました。

また、産業保健スタッフも「THP 指導者心理相談員」の資格を取り、従業員からの健康相談、特にメンタルの相談にも随時対応しています。

### 健康情報の提供と健康教育の充実

健康づくり活動への意識強化として、全社員を対象とした集合教育、職場単位の教育、社内イントラネットを活用した広報活動などを展開しています。

集合教育としては、全国労働衛生週間中の社内行事で外部講師や産業医による講演会を実施しています。

また、職場単位の教育では、職場安全衛生会議を利用した「職場ミニセミナー」を開催しています。この「職場ミニセミナー」では、職場の自発的な活動を促すため、職場での希望を聞き内容を検討して教育資料を作り、単なる情報提供ではなく、対話によるコミュニケーションを心がけています。

さらに、職場ミニセミナーの実施後は、職場から実施内容、職場での展開、意見、質問などをまとめた報告書を提出してもらい、その内容を解析し、職場での理解度、改善点など、次回開催への貴重な資料としています。

広報活動では、社内報や社内メールを活用しタイムリーな情報を従業員がいつでも見られる環境を整えています。特に今年は猛暑が続いており、毎朝社内メールで熱中症指数の情報を発信し、注意喚起を促しています。



【職場ミニセミナーの実施状況】



【喫煙率低減のために社内の各喫煙所へ掲示した自作のポスター】

安全衛生委員会

**禁煙(禁ND)**  
禁煙(禁ND) システムやんが?

禁煙の道  
禁煙に CHALLENGE して対策せんか?

喫煙率を下げてみんなが快適に働けるクリーンな環境とかがいえない環境のため、禁煙されている方へのご提案です。

喫煙者における肺の変化

60歳女性×喫煙者 25年経過 正常な肺の組織です	60歳女性×喫煙者 25年経過 肺の組織が壊れて 萎縮しています	70歳男性×日0本 30年経過 大気汚染(酸化して 2倍)	70歳男性×日20本 30年経過 全てが壊れて肺が 萎縮しています
---------------------------------	---	--	--

タバコの三大有害物質

ニコチン  
ニコチンが血管を収縮させて血圧を上げ、心臓や脳に負担をかけ、血管を硬化させ、心臓病や脳卒中の原因になります。また、代謝物の毒性が高いためです。

タール  
タールに着色く付着する1μm以下の微粒子を含んでおり、呼吸器の炎症を引き起こします。また、DNAを損傷させ、がんの原因になります。

一酸化炭素  
酸素の運搬能力を低下させ、貧血の原因になります。また、心臓の働きを低下させ、心臓病の原因になります。

受動喫煙は受動喫煙よりも有害です!

タバコの煙は、喫煙者が直接吸い込むだけでなく、周囲の空気にも含まれています。受動喫煙は、喫煙者から離れた場所でも有害物質を吸い込む原因となります。

受動喫煙＝副流煙＋呼出煙(環境タバコ煙)

受動喫煙と比べた副流煙中の有害物質	有害物質
ニコチン	2.8倍
タール	3.6倍
一酸化炭素(CO)	4.7倍
ベンゾ[a]ピレン	3.8倍
アンチモン	48.9倍

安全衛生委員会

こんなになっても吸い続けますか?

**喫煙者のパーンキー病**  
末梢血管の閉塞のために、10分間に100回叩くと痛みが激しく増す

指を叩いて切断  
すべての趾を切断  
踵下より切断  
すべての趾を切断

64歳 男性 喫煙指数960  
肺がんになり、ようやく禁煙しました

動脈硬化による足の壊死  
タバコは動脈硬化を促進します!

※喫煙指数とは、1日当たりの喫煙量×喫煙年数 < 指数400以上は肺がんに対する注意が必要です >  
日本の研究から日本人について出されている数字を見ると、喫煙指数1200以上は、この肺がんにかかる危険性が極めて高くなっています。これは、日本の平均と比べると約6倍、男性は約8倍という危険性です。

男性のこの肺がん発症の大半はこのレベルに達しており、女性の肺がんについては、400 が重要な数値と考えられています。これは分まで同じに計算しておいて下さい。

《ニコチン依存の恐ろしさ》  
火をおそれる服でさえ、タバコを吸うことを覚えるさせる実験をしたら、ニコチン依存になりタバコを離すことができなくなっていました。

タバコを吸うと、ニコチンが血管を収縮させ、心臓や脳に負担をかけ、血管を硬化させ、心臓病や脳卒中の原因になります。また、代謝物の毒性が高いためです。

「お一人やる  
皆が(去年)は、  
禁煙のため  
勇ましくした。  
強んでお得意  
申し上げます。」

「舌舌の呪詛」

タバコを吸うと、ニコチンが血管を収縮させ、心臓や脳に負担をかけ、血管を硬化させ、心臓病や脳卒中の原因になります。また、代謝物の毒性が高いためです。

禁煙のご相談はお気軽に産業医までどうぞ...

3. 終わりに

これらの取り組みについては、昨年の全国産業安全衛生大会の健康づくり分科会において、「継続的な取り組み」として発表する機会を頂きました。

2002年から現在まで健康づくり活動への取り組み体制を整えた結果、現在職場ミニセミナーの定着、自己健康づくりへの意識改善がみられ、徒歩通勤者やフィットネスジムへの入会者の増加、喫煙率の低下など、健康づくりの活動への取り組みが着実に浸透しています。社内での理解、協力が大きく寄与していることに感謝しています。

今後もこれらの活動を継続し、現在課題となっている従業員の高齢化、特にBMI30以上の40歳代超肥満者の指導、さらなる喫煙率の低減化への指導、自己健康づくりへの意識強化を図っていく予定です。

